

プレアボイドとは（日本病院薬剤師会の取組）

平成29年6月22日
第2回医薬品医療機器
制度部会・参考資料5

プレアボイドとは、Prevent and avoid the adverse drug reaction（薬による有害事象を防止・回避する）という言葉に基づいた造語である。

日本薬学会HP
日本病院薬剤師会HPより引用

- 医薬品の供給と調剤という薬剤師の使命のうち、調剤の概念は処方監査と医薬品を調整に留まらず服薬指導へと拡大している。
- さらに医薬品の適正使用推進と医薬品を使用した患者の安全管理（副作用・相互作用回避）へと発展してきている。

プレアボイド...その①
予知可能な副作用の回避

処方支援

患者情報
・薬歴
・面談記録
・診療録
・看護記録
・検査結果

患者面談中
面談準備中
回診協議中
配薬準備中
病棟巡回中

処方情報

疑義紹介 服薬指導

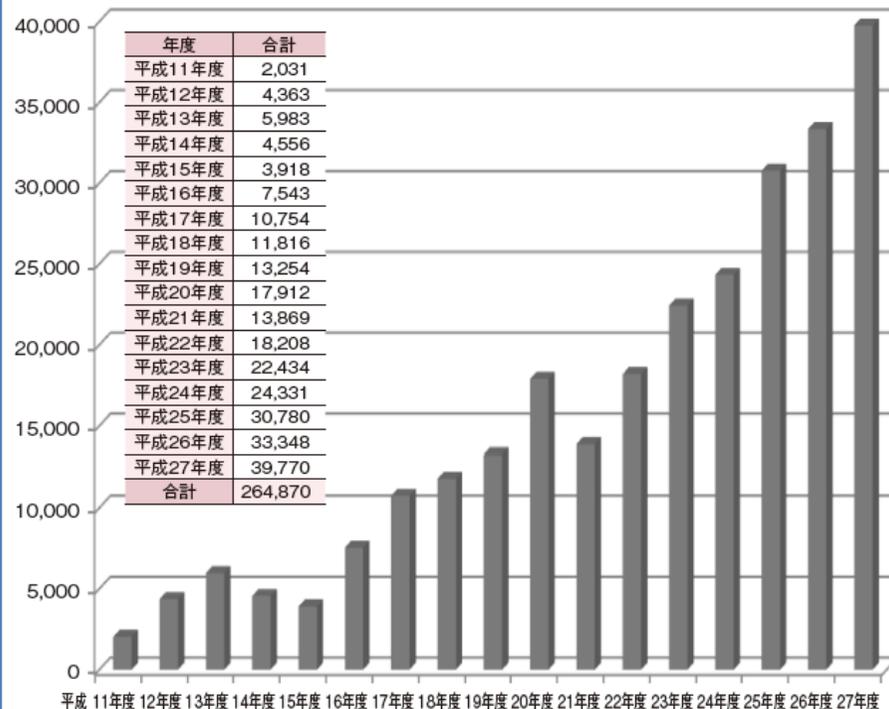
調剤



副作用の重篤化

プレアボイド...その②
副作用の重篤化回避

- 日本病院薬剤師会では、薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を“プレアボイド”と称して報告を収集している。



☒ プレアボイド報告数の年度推移

地域におけるプレアボイドの取組

近年、医療機関だけでなく、薬局における副作用等の健康被害の回避症例等も収集し、当該情報を地域で共有する取組が医療機関等の関係者と連携して始まっている。

【具体的な事例；愛媛県】

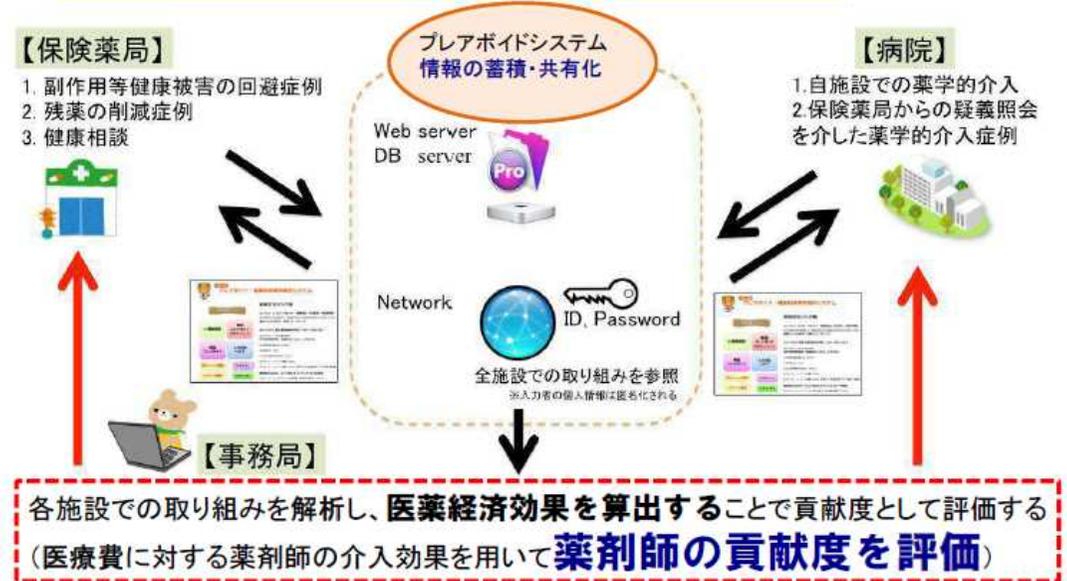
- 2014年度から県内の病院薬剤師と薬局薬剤師がプレアボイド事例などを共有するため、愛媛県内における医薬品による患者さんの健康被害を回避した事例を集積するシステムを作成。
- インターネット上にデータベースを構築することで、県内の病院と周辺の保険薬局間で薬学的介入事例を情報共有できる体制を整備している。
- また、保険薬局における残薬の解消介入についても情報収集することで、プレアボイド報告と残薬解消介入の経済的貢献度の評価を行っている。

システム導入施設数

平成26年度
薬局 8 + 病院 2

➡

平成27年度
薬局 161 + 病院 37



報告件数／患者数

薬局プレアボイド **580**件* / 500名
病院プレアボイド **417**件* / 407名

* 重複介入あり

解析対象(処方変更があったもの)

薬局プレアボイド **500**件
病院プレアボイド **509**件

平成26年度
愛媛県薬剤師会資料より引用